A41 Mosquito Magnet®による神奈川県逗子市の蚊類発生調査

○新庄 五朗, 小泉 智子 (財) 日本環境衛生センター)

Surveillance of mosquitoes occurrence in Zushi city, Kanagawa, by using the Mosquito Magnet®

Shinjo, G., Koizumi, T.

神奈川県逗子市の民家の庭先で、平成 15 年 9 月～12 月および平成 16 年 4 月～12 月の間、Mosquito magnet を用いて、経日的に蚊類成虫の捕獲調査を行った。採集された蚊類は、*Aedes albopictus*, *Ochlerotetus japonicus*, *Och. nipponicus*, *Armigeres subalbatus*, *Culex pipiens pallens*, *Cx. tritaeniorhynchus*, *Cx. bitaeniorhynchus* Gile, *Cx. halifaxii* Theobald, *Tripteroides bambusa bambusa*, *Anopheles lindesayi japonicus* Yamada, *An. lesteri* Baisas et Hu, *An. koreicus* sp の 12 種で、最も捕獲数が多かったのは *Arm. subalbatus* で 6 月下旬に最大、次いで *Och. japonicus*, *Ae. Albopictus* が続いた。*Cx.* の中では *tritaeniorhynchus* が最も多く採集され、*p. pallens* は少なかった。また、*Tp. bambusa* は数は少ないが頻度高く採集され、*Anopheles* 属は稀であった。*Ae. flabopictus* は精査に努めたが確認できなかった。

A42 大阪府における WNV に関する蚊のサーベイランス調査 (2004 年)

○青山 幾子¹, 弓指 孝博¹, 齋藤 浩一², 伊藤 房子², 石田 誠良³(¹大阪府立公衆衛生研究所, ²大阪府健康福祉部健康づくり感染症課, ³大阪府健康福祉部環境衛生課)

Survey of West Nile virus infection in mosquitoes in Osaka Prefecture (2004)

Aoyama, I., Yumisashi, T., Saito, K., Ito, F., Ishida, M.

米国でのウエストナイルウイルス (WNV) 感染症の拡大を背景に、大阪府では危機管理の一環として、WNV の侵入を監視するため、昨年度より府内にて蚊のサーベイランス調査を実施している。本年度の調査は平成 16 年 6 月 29 日より 9 月 21 日にかけて、府内 17 ヶ所に定点を設置し、保健所の協力のもとで行った。蚊の捕集はドライアイスを用いて、CDC ミニライトトラップを使用し、隔週火曜日夕刻より水曜日にかけて約 17 時間実施した。捕集した蚊は同定後、雌について地点ごと、種類ごとに遺伝子検査を行い、WNV の保有について検査した。また、本年度は各トラップ設置地点の周囲の状況を調べ、蚊の発生源について調査した。捕集された蚊(雌)は 4 種 3762 匹で、アカイエカ (67.6%), ヒトスジシマカ (31.5%), コガタアカイエカ (0.88%), シナハマダラカ (0.03%) であった。また WNV は全ての検体で検出されなかった。